



岡山旭東病院
マスコットキャラクター
「モモコ」

健康 讃歌

by 岡山旭東病院

認知症やパーキンソン病など、地域と連携しながら
早期診断、早期治療で人生の再構築を支援。

「たとえば神経内科で扱う代表的な疾患のひとつに認知症があります。現在、わが国の認知症患者は約五〇〇万人、社会の高齢化とともに、二〇年後には約七〇〇万人（高齢者の約五人に一人）にまで増える」と予想されています」と語るのは神経内科の北山通朗主任医長。一見、神経内科は精神科や心療内科などと間違われやすいが、実際はこれらの科とは異なり、脳や脊髄、神経、筋肉の異常が原因で、体に不自由をきたす病気を扱っている。当院の神経内科ではこれら神経系および筋の異常で生じる意識障害・認知機能障害、運動障害、感覚障害などに対し、診断と治療を行なっている。

「当科では、入院については脳卒中、パーキンソン病、てんかん、髄膜炎など、神経疾患急性期や急性増悪時の救急対応に重点を置いています。中規模な専門病院の特徴を生かした他科との素早い連携もポイントのひとつです。加えてほとんどの検査が当日可能（RI検査以外で、早期に診断、治療方針を決定できるのも当科の特徴です」と北山主任医長。

医療福祉相談課の片岡志麻課長は、「リハビリテーション課と連携した早期からの充実したリハビリも特徴です。院内の『患者相談支援センター』では地域連携スタッフや医療ソーシャルワーカーが常駐し、地域のかかりつけ医やケアマネジャー、訪問看護、介護スタッフなどと協力しながら、その人らしく生きるための支援を行なっています。私たちスタッフは患者さまやご家族のいわゆる伴走者。本人の意志を尊重しながら家族とともに、地域で見守る環境づくりにも取り組んでいます。認知症対策の国家戦略『新オレンジプラン』による認知症サポーター養成（下記参照）もその活動のひとつです。」

地域医療支援病院としての当院の活動を地域連携室の細谷佐也



（左から）
医療秘書課 主任
地域連携室
細谷佐也加
神経内科 主任医長
北山通朗
医療福祉相談課 課長
片岡志麻

加主任はこう説明してくれた。「毎月一回、病院と地域の在宅機関の相互理解を目的とした『地域連携カンファレンス』を開催しています。これは医師だけでなく介護福祉従事者、消防士らも参加する講習会で、多い時で一六〇人程参加されます。認知症をはじめとする神経内科をテーマにした回では、参加者の関心は高く、新しい情報や知識へのニーズを感じています。」

最後に北山主任医長：「神経内科は病気の領域が複雑で広いだけに院内の各診療科はもちろん、地域の医療機関やかかりつけ医、そして行政との連携が欠かせません。そういった視点からも当院は『地域のなかのようす担当』といった存在、さらに信頼される病院を目指したいと思っています」。チームによる手厚い支援、今後の活動が期待されている。

◆お問合せ／岡山旭東病院 ☎〇八六・二七六・三三三
<http://www.kyokuto.or.jp>

岡山旭東病院
パッチ・アダムスホール
(院内1階多目的ホール)
イベント案内

認知症サポーターになりませんか？



「認知症サポーター」は認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を地域で温かく見守り、支援する応援者です。認知症になっても安心して暮らせるまちづくりが全国で取組みされており、当院を会場に養成講座を開催します。

認知症サポーター養成講座

1月26日(木) 14:00～16:00 / パッチ・アダムスホール

内容 オリエンテーション「認知症サポーターについて」
講演「認知症について」「認知症の方への対応について」

※お申込み・お問い合わせは ☎086-276-3231 (代表) 担当: 患者相談支援センター(片岡)

参加
無料

要
申込み



1月

- ◆ピアノ・フルート演奏会
1/13(金) 13時半～14時
- ◆第78回 転倒予防健康教室
1/17(火) 14時～15時
- ◆糖尿病教室
1/24(火) 13時～14時
- ◆第94回 病院見学ツアー
(癒しのコース)
1/27(金) 13時～15時半 定員:10名

※どなたでもご参加いただけます。
コンサート以外は事前にお申込みをお願いします。
お申込みは 企画広報室 ☎086-276-3231

2月

- ◆ソプラノ・ピアノコンサート
2/3(金) 13時半～14時半
- ◆第79回 転倒予防健康教室
2/21(火) 14時～15時
- ◆第95回 病院見学ツアー
(診療コース)
2/24(金) 13時～15時半 定員:10名
- ◆園芸教室
2/25(土) 14時半～16時
材料代:1,000円
- ◆糖尿病教室
2/28(火) 13時～14時